

(1) 昭和41年度の会運営・事業に対する方針

- ① 小・中学校の関連をはかりながら研究大会をもち、今日の教育的課題の研究と解決にあたる。
- ② 美術科教師の研修会をもち、教科指導の充実をはかる。
- ③ 生徒の造形作品展覧会をもち、県全体の水準を高めるため研修の場を機会にする。
- ④ 研究集録を刊行し、年度内の成果の交流と次年度の研究推進に生かされるようにする。

(2) 昭和41年度の事業の実績

事業名	開催月日	開催場所	参加人数	研究主題
県下中学校美術科担任セミナー	41.9.9~11	猫苗代町国立磐梯青年の家	54	・各領域における問題点の討議と実技研修 ・力強く豊かな表現をかめる造形教育 ・美術教育における当面の課題
福島県造形教育研究大会	41.10.17~18	白河市方白河第三小学校	150	
福島県児童生徒造形展覧会	41.11.18~20	郡山市立金透小学校講堂		
研究集録「福島の造形」発行	42.2			

1	研究会名	中教研 英語部	部会名	英語部	会員数	480人
2	研究(部)会長氏名	加藤 利貞	在勤校	信夫郡吾妻町立野田中学校		
3	事務所所在校名	福島市立大島中学校	責任者氏名	佐々木 一夫		

4 研究会の事業

(1) 昭和41年度の会運営・事業に対する方針

- ① 組織の確立：旧組織との混乱感を一掃する。
- ② 組織的活動を盛んにする：支部活動と本部との関連を密にし、会員自身の組織であるという意識を高める。
- ③ 研究活動を活発にする：一個人、一地区等に限定され勝ちな研究成果を組織を通じて 全般的な効果に発展させるように配慮する。

(2) 昭和41年度の事業の実績

事業名	開催月日	開催場所	参加人数	研究主題
第1回福島県中学校英語教育研究大会	41.8.30	郡山市立第2中学校	350	家庭学習と授業との関連はどのようにあるべきか 語および連語はどのように指導すればよいか
県中学校教育協議会	41.9.28~29	同上	70	
第15回福島県中学生英語弁論大会	41.9.18	福島大学教育学部	34	

1	研究会名	中学校教育研究会	部会名	技術・家庭	会員数	480人
2	研究(部)会長氏名	羽根田 正 祝	在勤校	信夫郡吾妻町立水保中学校		
3	事務所所在校名	福島市立福島第2中学校	責任者氏名	関根 千代二		

4 研究会の事業

(1) 昭和41年度の会運営・事業に対する方針

- ① 支部単位の研究活動の活発化をはかる。
- ② 研究主題について地域ブロック、支部ごとに内容を分担して研究し質的な高まりをはかる。
- ③ 研究結果を集録し、会員に配布して研究意欲の向上をはかる。
- ④ 会報を通じての組織の強化と研究推進をはかる。

(2) 昭和41年度の事業の実績

事業名	開催月日	開催場所	参加人数	研究主題
○中学校教育研究協議会	7月28・29日	県内16ヵ所	480	○指導内容を系統的・調和的に指導すればはどうか ○指導内容の定着をはかるための学習指導
○技・家教育研究県大会	9月27日	郡山一中	450	
○自作教具展示会	9月27日	郡山一中	450	
○研究集録 ○会報	3月 6月10月3月			

1	研究会名	中学校教育研究会	部会名	道徳	会員数	350人
2	研究(部)会長氏名	安倍 仁三郎	在勤校	伊達郡霊山町立掛田中学校		
3	事務所所在校名	福島市立福島第二中学校	責任者氏名	福地 俊 男		

4 研究会の事業

(1) 昭和41年度の会運営・事業に対する方針

- ① 組織を確立し、部の研究活動の活発化をはかる。
- ② 研究主題を中心とする研究推進の組織化につとめる。
- ③ 支部・地域ブロックの研究を強化し、研究の質を高める。
- ④ 全県的な研究を推進するため機関紙を発刊する。

(2) 昭和41年度の事業の実績

事業名	開催月日	開催場所	参加人数	研究主題
○地区中学校教育研究協議会	7月28・29日	県内16ヵ所	350	○道徳指導における資料の活用をどうしたらよいか ○道徳の時間における資料はどのように活用するか
○道徳研究発表会	10月27日	須賀川市立須賀川第三中学校	320	
○機関紙「どうとく」	2月10日			

1	研究会名	福島県中学校教育研究会	部会名	特別教育活動部	会員数	953人
2	研究(部)会長氏名	小野 鶴雄	在勤校	福島県伊達郡国見町立県北中学校		
3	事務所所在校名	県北中学校	責任者氏名	小野 鶴雄		

4 研究会の事業

(1) 昭和41年度の会運営・事業に対する方針

- ① 県大会を中心に各ブロック単位の研究集会を持ち、研究の成果をまとめていく
- ② 研究の成果の刊行と成果の確認、問題点の整理を行ない研究態勢を確立する。
- ③ 各地区における研究を深め、会員の質的な向上をはかり成果の交換を行なう。
- ④ 教育課程研究会への準備と部の運営を円滑にする。

(2) 昭和41年度の事業の実績

事業名	開催月日	開催場所	参加人数	研究主題
地区特活研究集会	41.9.27	湯本二中	400	生徒指導について 学級活動における進路指導の進め方 生徒の自主性と実践力を養う指導はどのようにすればよいか
同上	41.10.3	北信中	80	
福島県特別教育活動研究大会	41.10.27	若松三中	150	

本会名	決算額	左の内補助金額	部会名	決算額	左の内補助金額	備考
福島県高等学校教育研究会	2,771,730	1,000,000	本部	334,167	320,000	補助金の内200,000は視聴覚調査研究費
			体育科	172,000	30,000	
			音楽	275,920	50,000	
			書道	99,100	40,000	
			道徳	41,700	20,000	
			視聴覚	169,573	40,000	
			農業	148,071	65,000	
			工業	243,864	65,000	
			商業	457,314	65,000	
			定通	117,072	50,000	
			生活指導	40,149	20,000	
			数学	176,000	65,000	
			英語	210,900	65,000	
			家庭	189,900	65,000	
			美術工芸	96,000	40,000	
計	2,771,730	1,000,000		2,771,730	1,000,000	

1	研究会名	福島県高等学校教育研究会	部会名	本部	会員数	3,183人
2	研究会会長氏名	津田 梯	在勤校	県立福島商業高等学校		
3	事務所所在校名	県立福島商業高等学校	責任者氏名	穴戸 周一		

4 研究会の事業

(1) 昭和41年度の会運営・事業に対する方針

- ① 自主的教育方針として活発に教育活動がなされるよう合理的な運営に努力したい。